

市民のみなさまへ 毛の抜けたタヌキにご注意ください

本市では、市内一円で毛の抜けたタヌキの目撃情報が寄せられています。

毛の抜けたタヌキは疥癬（かいせん）症に感染しています。疥癬症のタヌキは免疫力が落ち、数週間ほどで衰弱し死んでしまう場合が多いですが、周りにえさがあると延命し、住宅地等を徘徊します。直接、手で触ったり近づかないようにしましょう。

疥癬（かいせん）症とは・・・

- ◆ ヒゼンダニというダニによって皮膚病が起こる病気です。
- ◆ 人が感染すると一時的なかゆみや発疹がでると言われています。

毛の抜けたタヌキを見かけたら・・・

住宅地等にタヌキ等の野生動物を寄せ付けない環境整備が大切です。

疥癬症のタヌキを見かけたら以下のことに注意しましょう。

注意 1

飼育しているペット（イヌ・ネコ等）は疥癬症のタヌキとの接触により、り患する恐れがありますので、放し飼いをしないようにしましょう。



注意 2

ペットのエサの食べ残しは、きちんと後片付けをしましょう。残ったエサにタヌキ等の野生動物が集まり、住み着く原因になります。



注意 3

倉庫等にタヌキが入り込まないように戸締まりや片付けをしましょう。また、外に空の段ボール等が置いてあるとタヌキの寝床になりますので片付けましょう。



対策

野生鳥獣が嫌うにおい（忌避剤等）で追い払う方法や侵入口をネット等で物理的にふさぐ方法も対策の一つです。ご自身での対策が難しい場合は、専門の業者等に依頼してください。

※費用は自己負担になります。



市では、農作物被害や生活被害が頻繁に起こっていることからタヌキを有害鳥獣として位置付けているため、疥癬症のタヌキの保護は行っておりません。